



平成24年5月11日

新融資支援システム「融資支援 plus」の稼動開始について

筑波銀行（頭取：木村 興三、本店：茨城県土浦市）は、じゅうだん会（※）各行と新融資支援システム「融資支援 plus」（以下「新システム」という）を共同化することで合意し、導入準備を進めてまいりましたが、新システムの稼動を5月14日（月）より開始いたしますので、お知らせいたします。

1. 新システム導入の目的

融資業務の抜本的な効率化により、審査業務のスピードアップや一層正確な事務処理を実現するとともに、審査ノウハウの共有化および定型化により融資管理の高度化を図るものです。

2. 新システムの機能

電子稟議（融資案件の起案から決裁までの稟議をシステム上で行なうもの）を軸としたシステムで、融資に係る各種期日を管理する業務管理機能、業務処理に関するガイダンス機能、既存融資先の途上与信管理を強化するためのアラーム機能などを搭載します。

また、本部および営業店のパソコンと基幹系（勘定系・情報系）システムを連携させ、リアルタイムに情報共有を行います。

3. 導入効果

- （1）融資業務の効率化、高度化を図り、時間的コストの削減をすることにより、お客さまとの対応時間の拡大や更なるサービス向上につながります。
- （2）お借入内容を融資契約書に予め印字することにより、お客さまが書類に記入する負担の軽減につながります。
- （3）審査業務フローの電子化によるペーパーレス化が図られることにより、紙資源の大幅削減につながります。

※ じゅうだん会

八十二銀行（長野県）が開発した基幹系システムを利用する銀行グループで、メンバーは当行のほか、八十二銀行、山形銀行（山形県）、武蔵野銀行（埼玉県）、阿波銀行（徳島県）、宮崎銀行（宮崎県）、琉球銀行（沖縄県）の7行で構成しております。

報道機関のお問合せ先
筑波銀行 総合企画部広報CSR室 田村 内線3730
TEL 029-859-8111